

**「岩波駅周辺地区まちづくり基本計画(案)」
パブリックコメント制度の実施結果について**

(裾野市建設部付)

「岩波駅周辺地区まちづくり基本計画(案)」について、パブリックコメント制度によりご意見を募集したところ、次のとおりご意見をお寄せいただきました。貴重なご意見をありがとうございました。

いただいたご意見の内容とそれに対する市の考え方を公表いたします。

1. 募集期間

令和4年2月16日(水)～令和4年3月15日(火)

2. 意見の提出方法と人数・件数

提出方法	人数(人)	件数(件)
窓口持参	9	22
電子メール	2	13
郵送	1	4
FAX	1	1
ウェブサイト	3	4
計	16	44

3. 反映状況

反映状況		件数(件)
◎	計画(案)に反映したもの	1
○	既に計画(案)に盛り込み済みのもの	11
△	今後の参考とさせていただくもの	13
×	反映できないもの	19
計		44

＜岩波駅周辺地区まちづくり基本計画＞パブリックコメントでいただいた意見の内容と市の考え方

No.	ページ	該当箇所	意見の内容	市の考え方	反映状況
1	P5	計画の位置付け	ウーブン・シティを受けての計画と思われるが、ウーブン・シティの概要(機能、施設、非居住者が利用できる施設、人流)の想定が無くこの計画書の妥当性が判断不可。P5の絵【裾野市関連計画】にウーブン・シティ計画を入れるべき。	P89「7-2-8 短期整備計画スケジュール(案)」及び P97「8-4-2 進捗管理」でお示ししており、ウーブン・シティの一部オープンによる当地区への影響を考慮しながら、地域の実情にあった進め方をするとともに、短期整備計画の中間年次で当基本計画を柔軟に見直すことを想定しています。	×
2	P6	上位計画	「裾野市上位計画」の見直しが必要。「田園未来都市」が何だか分からない。未来都市とは何なのかきちんと定義をすべき。今の上位計画は当たり前のこと言っているだけで何(特徴)を目指しているのか分からない。昔風に言えば、商業都市なのか、農業都市なのか、それともSDCC構想の様な日本一の最先端技術都市なのか。特徴の分かる旗を立てるべき。	「田園未来都市」とは、裾野市総合戦略の策定において、裾野市らしさの表現として「自然や田園が広がりつつ、未来を志向できる技術や知識が集まる、東京から100km圏内の田舎」と表したものです。当基本計画においても、まちの将来像を「岩波らしい自然と未来技術でつながるまち」とし、当地区の強みを活かしながら、まちづくりを推進します。	×
3	P13	関連計画	SDCC 構想は世の中で叫ばれていることを羅列しただけで裾野市の構想になっていない。裾野市に必要なものに絞りその中を次の2種類に区分すべき。 (1) 出来上がった物を利用するもの (2) システムの開発段階から手掛けるもの(一つか二つ) 多くの項目が企業、又は東京都や大都市が取り組むべきものであり、裾野市の実力(資金力、人材)からして開発段階から手掛けられないものは削除すべき。 例えば次の様な項目は裾野市では手が出せないし、企業以外がやるにしても東京都の様な大都市が担当すべき。 ・自動運転システムの構築・実装、カーシェア・ライドシェアの取り組み ・空飛ぶ車など、新たな技術の実装に向けた取り組み	SDCC 構想につきましては、SDCC コンソーシアムのメンバーとともに9つの取組みの方向性をもとに、構想の理念の実現に向けて取り組むとともに、裾野市で実現できるものそうでないものは、状況を見定めつつ、状況が変化しても対応できるように研究は続けていきます。	×
4	P13 P20	関連計画	深良新駅は利用者確保の見通しがなく、実現性も限りなくゼロに近いので削除すべき。	深良新駅を含む新市街地の構想は、上位・関連計画で位置付けがあるものです。貴重なご意見として承りました。	×
5	P34	その他の地域資源	いわなみキッチンの記載があるが、市長は打ち切りを発表した。岩波駅周辺まちづくりワークショップでも地域住民は岩波駅を中心とするまちづくりの拠点としての広がり期待をしていたと感じているが、市長は打ち切りについて地域住民への説明責任があると思うが、そのような場の設定はしないのか。 また、2020年3月には静岡大学農学部と須山東富士農事組合と「新特産物試験栽培に関するパートナーシップの締結式」を行っているが、キヌアの生産に問題がないと感じるが、販路などへの支援体制はどのように考えているのか。	当ページの「その他の地域資源」は、現在存在する地域資源を列挙したものです。今後、計画を推進するにあたっては、市民や企業、各種団体等、多様な主体と連携を図りながら取組を進めていきます。	×
6	P34	その他の地域資源	地域を代表する自然資源は「黄瀬川や富士山の眺望」ではないか。かんがい遺産が「深良用水」であり、かんがい資産は人工物ではないか。両方活かす取り組みで良いと思う。	ご指摘のとおり、自然資源である「黄瀬川や富士山の眺望」と世界かんがい遺産の「深良用水」は、岩波駅周辺地区を代表する大切な地域資源であると認識しています。P70の取り組み方針 2-1として「岩波の自然や景観、地域資源等を活用したまちづくり」を掲げており、その実現に向けて取り組んでいきます。	○

No.	ページ	該当箇所	意見の内容	市の考え方	反映状況
7	P38～ P40	災害ハザード	<p>・地震や水害、火山の噴火など災害が予想されているばかりで対策について検討されていない。</p> <p>・予想される各種災害は分かりますが、それをどう対処していくのかという具体的な防災対策案が見えてこない。</p> <p>【市民の要望】(市民の希望意見)</p> <p>・市民(特に高齢者や身体に障がいのある方など)は、上記各種災害について非常に困惑しており、裾野市が避難場所として奨励している深良小学校には到底避難するのは不可能と思っております。</p> <p>【具体的な対策案について(希望案)】</p> <p>・P38の浸水想定区域図に向かって左上部には、現在トヨタ自動車(株)の社宅がありますが、トヨタ自動車(株)にお願いして、その場所に災害時の市民の避難場所として利用させてもらったらどうか。</p> <p>・トヨタ自動車(株)の敷地(一部)に沼津駅北口にあるプラザヴェルデ風の多目的施設を建設して普段は会議室などに利用し、災害時は避難場所として利用するなど。</p>	地震や水害、富士山噴火などの自然災害等への対策について、当計画内ですべて対応することは困難ですが、P59の基本方針1の取組方針1-1「住む人、働く人、駅を利用する人等が安全安心を感じられるまち」の実現に向けて、防災機能を付加した公園整備や狭隘道路の整備、無電柱化などの取組を記載しています。また、避難場所の確保等につきましては、地域の皆さまが安全安心のもと生活ができるよう市全体のまちづくりの中で検討していきます。	△
8	P51	ワークショップでの市民意見	<p>ワークショップの市民意見では、自然を活かす、賑わい、富士山と黄瀬川の自然など、「富士山麓の伝統的な和風景」などが、岩波駅周辺の良いところと捉えているように分析できる。</p> <p>コンサルが提案した整備イメージは「次世代型近未来」という世界中で平均的でどこでもありそうな都市イメージ。大丸有などのスマートシティと画一的。</p> <p>さらに、岩波駅周辺を大丸有などのようなスマートシティと画一的なデザインにすることで、10年後にはどこにでもある特色ない景色となってしまうのではないかと懸念している。</p> <p>ウーブン・シティは「未完成」で、変わっていくと明言されているので、ウーブン・シティで常に新しさを実感できる。次世代の街はウーブンに行けば見られる環境になる。</p> <p>全世界から来訪者が見込まれるのであれば、岩波駅周辺整備のまちづくりの景観イメージは、日本的な方が良いのではないかと懸念している。昭和が「エモい」という時代です。古さを感じない、陳腐化しないランドデザインを策定して欲しい。</p> <p>また、岩波駅周辺のまちイメージをウーブンに寄せることで、隣接エリアとの眺望差などが顕著になってしまう懸念はないかと懸念している。</p> <p>景観計画を策定するなど、面的整備が大規模に入るチャンスを活かしワークショップでも出ている「賑わいの創出＝人がおとずれなくなる街並み」の実現に向けた政策的な誘導が必要なのではないかと懸念している。</p>	短期整備計画に掲げた事業につきましては、P97に記載しましたとおり、市民や周辺企業と連携しながら進める市民協働の視点、公民連携によるまちづくりの視点、ソフト事業を可能にする基盤整備や施設整備の視点により取り組んでいくため、学識者や市民など様々な立場の人による「(仮称)まちづくりデザイン検討協議会」を組織し、その中で全体のデザインや賑わいにつながるソフト事業の展開について検討していきます。ご提案いただいたアイデアは貴重なご意見として承りました。	△
9	P58	まちづくりの目標	ウーブン・シティへの来訪者→ウーブン・シティ『などへの』訪問者の方が良いのではないかと懸念している。	ご指摘のとおり修正します。 修正前:ウーブン・シティへの来訪者 修正後:ウーブン・シティ等への来訪者	◎

No.	ページ	該当箇所	意見の内容	市の考え方	反映状況
10	P59 P66 P62 P63 P81	取組方針 1-1 取組方針 1-1 岩波駅周辺地区まちづくりイメージ 各エリアのイメージ 取組体系	安心・安全の向上図り、暮らしやすさが実感できるまちづくりのために狭隘道路の整備を望む。 【市道 1263 号線の整備】(岩波駅から線路東側を南下) 市道 1263 号線だが、コンフォート内への市道はコンフォート住人のみを使用し、一般市民は西側の通路から岩波駅へ往復している。要望としては、西側の通路を整備し、こちらを市道 1263 号線としてほしい。	岩波駅の東側につきましては、中長期整備計画で「岩波駅東口改札等整備」を位置付けています。今後、岩波駅東口改札等の整備に向けた検討では、様々な視点で岩波駅東側の検討を行っていきます。	×
11	P60 P62 P63 P69 P71 P73 P75 P80 P81	取組方針 2-1 岩波駅周辺地区まちづくりイメージ 各エリアのイメージ 取組方針 1-3 取組方針 2-1 取組方針 2-3 取組方針 2-4 全体整備計画 取組体系	【御殿場線スイッチバック跡地の有効活用】 山を崩し、岩波駅へつながる道路として整備し、駅へのルートを複数化し、防災上安全上の有事に対応できる住環境を創出する。駐車場の設置も可能。広域の部分は商業施設の誘致も可能と思われる。周辺住宅を含めた大きなロータリー化を図る。 ※基本計画に記載の展望公園の整備には反対。 ・高所にあるため利用者が限定される。 ・公園の管理、メンテナンス面で持続可能性に疑問あり。 ・市道 1706 号線からの展望で充分である。 【市道 1706 号線の整備について】 現在、通過車両の激減化が見られる。10 年前の混雑した様子は通勤時間帯にも見られない。拡幅の必要なし。	御殿場線スイッチバック跡地は、岩波駅周辺地区を代表する地域資源のひとつであると認識しています。また、昨年実施した岩波駅周辺地区まちづくりワークショップにおいても地域資源として利活用したいとの意見もいただいたところです。(仮称)スイッチバック跡地展望公園の整備につきましては、中長期整備計画として検討していきませんが、検討の際には、地域の方々のご意見を伺い、合意形成を図りながら進めていきます。また、市道 1706 号線の整備につきましては、世界かんがい施設遺産である「深良用水」の散策路としての活用も考慮しています。こちらも、中長期整備計画における検討の際には、地域の方々のご意見を伺い、合意形成を図りながら進めていきます。	×
12	P60	取組方針 2-1	市民(住民)の憩いの場として、また、来訪者(観光者など)との交流の場として、黄瀬川から岩波区内の蛸の里などを通って新川(深良用水)に流れる用水路は、昔、田んぼや畑の取水として農民の生活を支える重要な農業用水であった。現在は、農業を営む農家が減少し、住宅地の生活用水路や防火用水路として利用されています。だからと言ってその用水路は必要ないというのではなく、現在も多くの定住者が防火用水路などとして利用すると同時に市民や来訪者等の心を癒す憩いの場として活用しているので、岩波公民館付近を流れる水路等の整備や大型台風などによる黄瀬川の氾濫を防止するため黄瀬川からの取水口の水門整備も防災上必要とされる。	昨年開催した岩波駅周辺地区まちづくりワークショップにおいて、黄瀬川の自然や景観、眺望等に対する思いの深さを改めて認識することができました。本計画においては、そうした岩波の自然や景観などの地域資源を活用し、憩いと交流・賑わいの創出等に取り組んでいきます。また、具体的な整備内容につきましては、今後、地域の方々のご意見を伺い、合意形成を図りながら進めていきます。また、農業用水の活用など貴重なご意見として承りました。	△
13	P63	各エリアのイメージ	既存住宅エリアにあるスイッチバック跡地に美しい富士山を仰ぐ展望台やスイッチバックの仕組みなどを描いた歴史館の設置は多くの観光客等を魅了すると思うので、ぜひ早期に実現を切望します。	岩波駅周辺地区においては、安全安心な交通環境の確保や交通結節点機能の改善・強化が最重要課題と捉えています。まずは、基本的な基盤整備をしっかりと行ったうえで、(仮称)スイッチバック跡地展望公園の整備につきましては、中長期整備計画として内容を検討していきます	○
14	P64	エリア内の動線計画	ゾーンを横断する広域的動線(仮称:御宿岩波線)の整備については、以前にも仙石原新田線とインター線をつなぐ道路建設計画案があったが、一部の反対者等により頓挫してしまった。しかし、現在においては、さほど問題なく同計画案が進む状況にあることから、住民の間では国と協力体制を推し進め早期実現が希望されている。	岩波駅周辺地区においては、安全安心な交通環境の確保や交通結節点機能の改善・強化が最重要課題と捉えています。まずは、岩波駅周辺の基盤整備を行ったうえで、(仮称)御宿岩波線の整備及び街区道路の整備を次のステップの中長期整備計画として進めていきます。	○
15	P67	取組方針 1-2	小型自動運転バスは電磁波による長期的な健康被害があります。今のうちに本を買って勉強し、対策できなければ廃止してください。	小型自動運転バス等の導入につきましては、安全に十分配慮したうえで検討していきま	×

No.	ページ	該当箇所	意見の内容	市の考え方	反映状況
16	P67	取組方針 1-2	下記取り組みは裾野市で行っても実用化に向けた課題やノウハウの蓄積にならない。他の都市に任せるべき。 (1)公共交通の充実に向けた検討 (2)パーソナルモビリティの体験・運用 (3)新たな公共交通システムの研究・検討	ご指摘のとおり、公共交通については、当市のみならず、地方都市共通の課題であると認識しています。この課題の解決に向けて、当市での取り組みによるノウハウの蓄積だけでなく、他の都市での事例等も参考にし、広域的な連携も考慮しながら取り組んでいきます。	×
17	P67	取組方針 1-2	・駅前にロータリーをつくってほしい ・駅前にショッピングモールをつくってほしい ・憩いの場がほしい ・路線バスを充実してほしい	岩波駅周辺地区が裾野市の北部地域の拠点となるよう、交通結節点機能の強化等に取り組んでいきます。また、賑わいの創出のため駅前に拠点誘導施設(賑わいの拠点施設)の整備に取り組めます。	△
18	P68	取組方針 1-3	岩波駅周辺に駐車場を作してほしい。	P68の取組方針 1-3に記載のとおり、「交通結節点の強化に向けた、駅前交通広場及び駐輪場、駐車場の整備」は短期整備計画に位置付けていますので、整備に向けて取り組んでいきます。	○
19	P68 P76	取組方針 1-3 取組方針 3-1	(仮称)御宿岩波線の整備は岩波地区を分断し又騒音排気ガスの増大、黄瀬川環境/景観を破壊し岩波地域住民の生活を阻害するものである。よって計画を撤回するべきである。	(仮称)御宿岩波線の整備につきましては、上位・関連計画においても位置付けがあり、また、岩波駅周辺地区まちづくりワークショップにおいても、地域の方々から整備の必要性のご意見を多数いただきました。本計画においては、中長期整備計画として位置付けていますが、実施する際には地域の方々のご意見を伺い、合意形成を図りながら進めていきます。	×
20	P70	取組方針 2-1	「蛍の生息地の保全」を行うのであれば、日本一を目指して貰いたい。	貴重なご意見として承りました。	△
21	P72	取組方針 2-2	P14(SDCC 構想)と重複するので言及はさけますが SDCC 構想を見直し、その結果を受けて全面的に見直すべき。	SDCC 構想につきましては、SDCC コンソーシアムのメンバーとともに9つの取組みの方向性をもとに、構想の理念の実現に向けて取り組むこととしています。貴重なご意見として承りました。	×
22	P73	取組方針 2-3	・歩道を広くしてほしい ・縁石に色を付けてほしい ・点字ブロックが途切れないようにたどり着けるようにしてほしい ・音のなる信号をつけてほしい ・休憩所への案内が音でわかるようにしてほしい	整備にあたっては、P73「取組方針 2-3」に示したとおり、ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使いやすいまちづくりを推進します。	△
23	P77	取組方針 3-2	裾野から外へ出ずに働ける場所が欲しい	P77にお示したとおり、雇用の創出に向け企業誘致の促進に取り組んでいきます。	△
24	P80	全体整備計画	鉄道と県道沼津小山線の平面交差をやめる	岩波駅周辺の歩行者の安全確保や渋滞の緩和等様々な観点から今後検討を行います。また、踏切通過交通の縮減を目指し県道仙石原新田線とインター線を結ぶ(仮称)御宿岩波線の整備も中長期的には検討します。	△
25	P80	全体整備計画	市道 1706 号線歩車分離の道路拡幅と踏切の拡幅	今後、市道 1706 号線の整備については、中長期整備計画として位置付け、整備内容を検討します。	△
26	P80	全体整備計画	岩波駅北側の市道 2-18 号線と県道沼津小山線交差点部から市道 1706 号線までの拡幅及び深良川橋の架け替え	当該路線は、地区の東側において南北を結ぶ道路であり、岩波駅周辺地区の都市機能の整備状況を見ながら今後研究していきます。	△
27	P80	全体整備計画	インター線と仙石原新田線を結ぶ新設道路を建設する。	(仮称)御宿岩波線については、中長期計画として位置付け、整備内容を検討していきます。	○

No.	ページ	該当箇所	意見の内容	市の考え方	反映状況
28	P80	全体整備計画	黄瀬川の溪谷を中心とした住宅地の造成	住宅地については、P57 でお示したとおり将来的には「未来型居住ゾーン」で検討していきます。	△
29	P80	全体整備計画	人口減少社会とAIの進化により、人の大量輸送のための鉄道が必要になるのか。岩波駅の必要性は。リモート時代の到来に、そもそも職住近接の考え方は正しいと言えるのか。	岩波駅は、年間約 72～78 万人の利用があり、ここ数年の利用者の推移を見ても横ばいの状態であるため、必要な施設であると認識しています。また、職住近接の取組みについては、上位計画である第 5 次裾野市総合計画においても、「職住近接のまちづくりに向けた住宅地の確保」に取り組んでいくこととしています。	×
30	P80	全体整備計画	現存古民家を修復し記念館に活用。その古民家は用水開削にあたり、先祖がかかわったことは事実であり、現在は居住中ではあるが文化財級の古民家といえる。その古民家と、さらに周辺の土地を活用し、公園緑地と一体化した深良用水記念館を建設してはどうか。また、財源についてはクラウドファンディングを活用してはどうか。	ご指摘のとおり、深良用水については、地域を代表する貴重な地域資源であり、世界かんがい施設遺産にも登録され、歴史的・技術的・社会的に貴重な価値のある歴史文化資源でもあります。当計画の中では P66 に「深良用水沿道の散策路整備」を中長期整備計画に位置付けています。記念館の建設につきましては、貴重なご意見として承りました。	×
31	P80	全体整備計画	世界遺産富士山・駿河湾の眺望、奥箱根への西側玄関口として、湖尻峠を起点にロープウェイを建設し、ウーブン・シティ及び岩波駅へ直結させ、観光誘客を中心とした人的交流を図るシンボルとする。建設には苦難のプロセスがありますが、言うまでもなく法規制、資金問題等を解決するには、行政・関係市民・企業等の理解・協力が最大の課題と考えます。	ご提案の構想は、大変スケールが大きく、当基本計画が 20 年先を見据えている中で、ご提案の当構想を実現することは非常に困難であると考えますが、箱根・芦ノ湖方面と繋がることは大切な事であると認識しております。	×
32	P80	全体整備計画	深良用水記念館建設用の古民家周辺は、昭和 26 年映画「箱根風雲録」制作のため、劇団前進座を中心に関係スタッフが滞在した経緯があります。これらを踏まえ、以下のイベント事業等が考えられます。 ・箱根神社・箱根町・長泉町などより古文書等を借用・定期展示 ・映画「箱根風雲録」パネル常設展示 ・箱根町・長泉町・清水町等との人的交流 ・世界かんがい施設遺産と他遺産との交流 ・全国疎水百選他遺産との交流 ・深良用水まつりへの支援 ・劇団前進座との交流	深良用水記念館の建設につきましては、当計画の中では計画をしていませんが、岩波駅周辺地区の賑わいの創出等に向けたソフト事業の展開については、今年度に引き続き、来年度以降も地域にお住まいの方を中心としたワークショップを実施して行く予定です。その中で、地域の住民の方や周辺企業と連携して魅力ある地域づくりに取り組んでいきます。	×
33	P80	全体整備計画	岩波駅と市道 2-18 号線に挟まれた住宅地は主に進入路が聖母幼稚園からの 1 本に限られていて、有事や火災など消防車が入れないと言われていています。外部からのキッチンとした進入路を考慮いただきたいと思います。	岩波駅の東側につきましては、中長期整備計画で「岩波駅東口改札等の整備」を予定しています。今後、岩波駅東口改札等の整備に向けた検討では、様々な視点で岩波駅東側の検討を行っていきます。	△

No.	ページ	該当箇所	意見の内容	市の考え方	反映状況
34	P80	全体整備計画	<p>【岩波駅】 ①車、人、タクシーの往来で朝夕ごった返していても危険です。解消法として地下道、陸橋をつくる。 ②踏切の渋滞は、東京の環七、環八は解消法に地下道をつくったということです。</p> <p>【前田商店跡地】 大きなマーケットにし、野菜、花、米をブランド化し、岩波野菜で売り出す。屋上に日本一富士山が美しく見えるよう展望台を置く。大きなマーケットの1階か地下にタクシー、路線バス、各企業の工業行きのターミナルを作り渋滞緩和につなげたい。</p> <p>【店舗】 ランチなど和洋食の低価格なお店を増やす。</p>	<p>岩波駅周辺地区においては、安全安心な交通環境の確保と交通結節点機能の改善・強化が最重要課題と捉えています。まずは、基本的な基盤整備を行っていきませんが、整備内容につきましては今後具体的に検討していきます。</p> <p>また、マーケットや店舗等につきましては、民間企業と連携して、生活利便性の向上と賑わいの創出に取り組んでいきます。</p>	×
35	P81 P89	取組体系 短期整備計画スケジュール(案)	<p>① 各々の施策にお金がいかに掛かるのか記されておらず判断不可。 ② P81 に記されている短期計画で P89 の計画から抜けているものが何故なのか理由を明確にすべき。</p>	<p>事業費につきましては、当基本計画ではまだ概算であるため、P90「7-2-9 短期整備計画概算事業費」において、各々の施策では示さず、短期整備計画にかかる概算事業費を総額で示しています。</p> <p>また、同ページの短期整備計画スケジュール(案)については、ハード整備を中心にスケジュールを示したものであり、ソフト事業については短期整備期間の中で実施していくものであると認識しています。そのため当スケジュールには掲載していないものです。</p>	○
36	P82	短期整備計画	<p>岩波駅前が、車両にも歩行者にも安全で、真に周辺地域とのハブとなるよう、公共交通機関の拡充など建設面、運用面の両面での整備をお願いします。</p>	<p>岩波駅周辺地区が裾野市の北部地域の拠点となるよう、交通結節点機能の強化等に取り組んでいきます。</p>	○
37	P89	短期整備計画スケジュール(案)	<p>短期整備計画スケジュールがこれだけタイトになっている以上、具体的な整備手法案が既になくはないか。フェーズ1竣工まであと4年。整備手法はどこで示していくのか。現時点で示されていても良いのでは</p>	<p>道路等の基盤施設は、行政による整備を基本とし関係機関との協議を図りながら整備手法を決めていきます。一方、建物や一部の維持管理運営などは公民連携による手法を想定していますので、詳細については、今後進める設計の中で検討していきます。</p>	×

No.	ページ	該当箇所	意見の内容	市の考え方	反映状況
37	P89	短期整備計画スケジュール(案)	<p>私は駅西土地区画整理地区に住んでいますが、長年のだらだら工事と何回も同じ所(駅前ロータリー)を掘ったり埋めたりする無駄な工事と、さして必要もない桃園平松線に大金を費やしているのを見ているので、今回の岩波地区のまちづくりは本当に必要なことを必要な規模でやってほしいと思っています。財政破綻の当市にはお金を大事に使ってほしいので、その観点から疑問や意見を述べさせていただきます。計画の中で岩波駅周辺は駐車するところもなく、歩車道分離もなく、危険踏切の改善も必要で、これは早急にすべきことと思います。スケジュール表では本年から着工するものもあるようです。もう少し様子を見て計画した方が良いのではないかとと思われるものもあります。</p> <p>①第一にウーブン・シティは 2,000 人規模の社員が住み、商店や病院を備え、域内で不自由な暮らしにならないようにするそうですが、何年間ぐらいの実験予定で、もし子供も住むようになったら通学はどのようにするのかなど発表されていない。</p> <p>②見学に来る人はどのようにするのか、御殿場線利用者は少ないと思う。インターに近いトヨタはまず車やバスなどがほとんどで、地域の観光などする人は少ないのではないかと。富士山はどこからでも眺められるし、岩波の溶岩の規模もすごく大きいものではなく、食べ物も特産品もない。従って市内観光の魅力は少ないのではないのでしょうか。そのため公園とか道路とか早々に作る必要は少ないと思う。地域の発展、交流などは願いたいところだが簡単ではないと思う。</p> <p>③ウーブン・シティの地域への波及効果には勿論期待することは大ですが、ウーブン・シティが拠点となって、まわりに近未来型の企業が集まってくると嬉しいですね。全体的に計画は夢のようなことが多く、もう少しシビアに考えて生かせることをポチポチではどうでしょうか。</p> <p>強調したいのは、トヨタのふるさと納税をなにがなんでも使ってしまうなけらばならいと無駄、無理をしないようにお願いします。(財政破綻中ですから)整備スケジュールも、もう少し経過を見て取り組んだらどうでしょう、性急すぎる気がします。</p>	<p>岩波駅周辺地区においては、歩道の整備などの安全安心な交通環境の確保や駅前ロータリーや駐車場などの交通結節点機能の改善・強化が最重要課題と考えています。まずは、基本的な基盤整備を短期整備計画で位置付け取り組んでいきます。また、中長期整備計画では、ウーブン・シティの一部オープンによる当地区への影響を考慮しながら、地域の実情にあった進め方を行うとともに、短期整備期間でも中間年次において本基本計画を柔軟に見直していきます。</p>	△
39	P91	中長期整備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・岩波駅東口を開設し、深良川周辺区域までを都市機能誘導区域とし、県道を国道 246 号に高架で直結させ東名高速道路へ直結させる。 ・県道周辺と湖尻峠までハイキングコースと遊歩道整備が急務です 	<p>都市機能誘導区域の拡大につきましては、人口減少社会が進行する中で、都市機能誘導区域を拡大することは現時点では困難な状況であると考えます。</p> <p>また、岩波駅東口の整備及び仙石原新田線とインター線を結ぶ(仮称)御宿岩波線につきましては、当計画の中で中長期整備計画に位置付けておりますので、今後、事業が促進されるよう取り組んでいきます。なお、県道仙石原新田線の早期完成につきましては、当事業は静岡県の事業であるため、今後も早期完成に向け、引き続き要望していきます。</p>	○
40	P94	想定される事業手法	<p>公共部門に移管するお金はありますか。借金になるのではないのでしょうか。財政が狂うと思います。</p>	<p>本事業については、市の財政負担を極力抑制する観点から、民間活力を活用し事業を推進したいと考えます。事業を推進するにあたっては、民間事業者の誘導を図りながら進めていきます。</p>	○

No.	ページ	該当箇所	意見の内容	市の考え方	反映状況
41	P95	財源確保	市の財産がなくなるのではないかと。永遠に借金だらけです。	当事業については、極力、市財政の負担を軽減するよう「企業版ふるさと納税」及び国の都市構造再編集中支援事業の補助金を活用して実施する計画です。また、持続可能なまちづくりを目指し、積極的に民間のノウハウや資金の活用を図るなど公民連携によるまちづくりを進めていきます。	○
42	全般	全般	97 ページにも及ぶ資料(紙量)で、何がポイントで何を言いたいのか分からない。	大きな構成としましては、第 1 章から第 4 章までは計画策定の経緯から、現状分析、市民意見等を掲載しており、第 5 章からは第 4 章までを踏まえた基本方針から整備計画、事業手法を掲載しています。概要版も作成していますので、そちらもご活用願います。	×
43	全般	全般	関係する住民市民にすべての資料を配って、説明し、(もっとわかりやすく)具体的に何をやるのか、市の貯金は大丈夫なのか(未来の借金になる)企業がからむ危険性も説明してください。これでは公開ではなく、ただ資料を置いてあるだけです。	住民からのご意見等につきましては、全住民より頂戴したいところですが、対象者が多いため P45 から記載してありますとおり、各種アンケート調査や市民ワークショップにて頂戴し、その意見を踏まえて当計画案を作成しています。住民への周知につきましては、計画策定後に実施していきます。	×
44	全般	全般	立地適正化計画に基づいた、交通結節点の部分は交通広場を整備することが示され、集落地域に対しても明るい希望となる可能性がある。 しかし、現状では集落地域と集約地域をつなぐ北部地域のハブとしては機能していない。ハード整備と共にその他の視点での検討が、集落地域と共に生きていくという裾野市版立地適正化計画の実現にも大変重要。今後の展開に大いに期待する。 立地適正化計画に基づいた、交通結節点の部分は交通広場を整備することが示され、集落地域に対しても明るい希望となる可能性がある。 しかし、現状では集落地域と集約地域をつなぐ北部地域のハブとしては機能していない。ハード整備と共にその他の視点での検討が、集落地域と共に生きていくという裾野市版立地適正化計画の実現にも大変重要。今後の展開に大いに期待する。	ご指摘のとおり、上位計画や関連計画で求められている安全安心の向上や交通結節点機能の強化としての基盤整備と合わせて、公共交通の充実の方策や移動の在り方など様々な可能性を研究、検討していきます。	○